

平成30年度事業計画

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

連携推進委員会委員長 森 利之

第3回 全国高専生サミット(場所:鶴岡高専) 内優秀発表審査にゲスト審査員派遣
第2回に続き、伊熊先生にお願いする予定(ただし、旅費はMRS-Jから)

第28回 日本MRS年次大会 高専シンポジウム開催
第27回の高専シンポジウムは、高専関係者に大変好評であったことから、
28回(九州地区開催)では、2シンポジウム程度の企画・運営を計画中。

第3回 全国高専生サミット(場所:鶴岡高専)での日本MRS実験室(後継版)の開催
横浜市から後援で開催している日本MRSの開催にかわり、本年度から、全国
高専生サミット会場での日本MRS実験室の開催を検討中。
全国高専生サミット内行事としても初のこころみであり、運営面で工夫が必要との
声はあるが、これを機に、全国5ブロック存在する高専機構のネットワークを活用し、
日本MRSの活動理念を、日本全国津々浦々まで伝える活動を行いたいと考えて
いる。(横浜地区から全国各地へ)

昨年度、+17名の高専教員のみなさまに、新たに日本MRSの正会員になっていただけ
ことをうけて、平成30年度は、前年度比2倍にあたる+34名(合計正会員目標数:73名)
を目標に、上記3件の活動を実施する予定でいる。

平成30年度事業計画

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

- ◆鶴岡開催の高専生サミット優秀 発表ゲスト審査員派遣。
神奈川工科大学～鶴岡 往復 2泊三日 一名
本厚木～(バス)～羽田～(飛行機)～庄内～(バス)～鶴岡 宿泊費込み(日当なし)
¥71,400-
 - ◆鶴岡開催の高専生サミット(+MRS-J実験室) 実験室の開催経費(前年度実績ベース)
加納先生旅費・謝金(¥18,000-), 岡田先生旅費・謝金(¥18,000-),
アルバイト1名(¥7,000-)
 - ◆優秀発表者の年次大会招待経費(各高専から)
日本MRS年次大会会場:北九州国際会議場(小倉) 例として、2017年参加高専で計算
 - 鶴岡からの場合 ※飛行機・バス 教員: 159,280円(日当・宿泊費含む)
 - 新居浜からの場合 ※新幹線・JR 教員: 55,500円(日当・宿泊費含む)
 - 沖縄からの場合 ※飛行機・バス 教員: 93,800円(日当・宿泊費含む)
- 上記には早期割引・JR学割等は反映していませんのでMAXの金額となります。
高専サミット分 教員3人 ¥24,000- (正会員として登録を想定)
合計 **¥446,980-** を予算として計上。

ただし、なるべく2シンポジウム開催(予定)補助金も、これらの経費への充当をはかり、支出の節約に努めるものとする。

また、仮に、+34名の新規正会員が入会できれば、会費収入 ¥272,000/年 増。
今後約2年間で平成30年度支出と学会の収入がバランスすると期待される。

平成30年度事業計画

日本MRSニュース編集委員会

ニュース編集委員会委員長 岩田展幸

1. 原稿依頼とニュース発送までの流れ No.1, 3, 4

		30日		10日		5日	
No.1	2/20発送	<==	1/20印刷所	<==	1/10初稿ゲラ修正(事務局)	<==	1/05校正(清水)
		30日		10日		5日	
No.2	6/20発送	<==	5/20印刷所	<==	5/10初稿ゲラ修正(事務局)	<==	5/05校正(清水)
		30日		10日		5日	
No.3	8/20発送	<==	7/20印刷所	<==	7/10初稿ゲラ修正(事務局)	<==	7/05校正(清水)
		30日		10日		5日	
No.4	11/20発送	<==	10/20印刷所	<==	10/10初稿ゲラ修正(事務局)	<==	10/05校正(清水)

	10日		10日		5日		35日	
	<==	12/25修正原稿	<==	12/15修正	<==	12/10原稿	<==	11/05原稿依頼
	10日		10日		5日		35日	
	<==	4/25修正原稿	<==	4/15修正	<==	4/10原稿	<==	3/05原稿依頼
	10日		10日		5日		35日	
	<==	6/25修正原稿	<==	6/15修正	<==	6/10原稿	<==	5/05原稿依頼
	10日		10日		5日		35日	
	<==	9/25修正原稿	<==	9/15修正	<==	9/10原稿	<==	8/05原稿依頼

2. 30-No.2号 掲載内容(案)

- ・ A2版ポスター形式で制作予定
- ・ 第28回日本MRS年次大会 ポスター A4-4ページ分 (A2)
- ・ 各シンポジウムの紹介 (代表オーガナイザーの顔写真付き) A4-2ページ分 (A3)
- ・ 国際シンポジウムの研究/研究室/研究施設・設備紹介 A4-2ページ分 (A3)

編集委員会

編集委員会委員長 有沢 俊一

- 2018年7月1日投稿分より、新料金体系に(議案)
- 文章、図版などの著者による再利用規程の更新
 - 以前理事会でお示した当初案はAIPを参考にしたものであったが、緩すぎるというご意見もあり、再検討。
- 検討中の事項
 - 情報委員会 青木先生のご提案により、ORCID numberの取り入れ
 - 管理体制
- 論文掲載料の改定案 [別添資料①を参照。](#)

広報・情報委員会

広報・情報委員会委員長 青木 学聡

1. マイページ機能の充実。現在準備中の部分(年会費支払い状況等)の作成。
また世界的な研究者ID(ORCID)との連携、活用可能性の探査。
2. ホームページの維持管理と充実。
3. 協賛可否、告知依頼の掲載可否など。
4. 会員向け告知情報の充実。外部団体等から広く認知され、協賛依頼等が届くよう図る。

表彰委員会

表彰委員会委員長 手嶋勝弥

奨励賞実施要綱

若手奨励賞について

MRS-J奨励賞の選考要綱

1. 奨励賞選考委員会（以下 選考委員会とする。）

委員長 手嶋勝弥(信州大学)

2. 選考委員の推薦依頼

1)各シンポジウムオーガナイザーへ当該分野の選考委員の推薦を依頼する。

2)シンポジウム毎に3名以上、推薦していただく。選考委員の数は、口頭発表およびポスター発表の表彰候補者数、専門性を考慮し、シンポジウムに委任する。ただし、60分あたり、1人の選考委員で評価できる発表数は6件（120分で12件）程度が限度であることに留意する。個々の選考委員がどの発表を評価するかの割り振りは、シンポジウム毎に決める選考委員主査に委任する。なお、選考委員主査および選考委員を主オーガナイザー並びに副オーガナイザーが兼ねることは妨げない。

3)各オーガナイザーは、あらかじめ各選考委員あてに評価フォーム(発表番号・名前入)、選考規程、細則、当該発表の要旨を送付する。

3. 発表当日の選考スケジュール（口頭発表、ポスター発表を含む）

1)各シンポジウムは事前に、選考委員主査と合議の上、各選考委員に発表番号と名前が記入済みの評価フォームを送付しておく。評価フォームは、Webシステムよりダウンロードして使用する。

2)各選考委員は規定ならびに細則に従って、シンポジウム毎の発表時間内に評価を行い、シンポジウム終了後は速やかにそのフォームを選考委員主査に提出する。

3)選考委員主査は、シンポジウム終了後所定時間内に、Webシステムを用いて受賞候補者リストを選考委員会副委員長に提出する。

4)選考委員会副委員長は、全シンポジウムの結果をとりまとめ、選考委員会委員長に報告する。

5)選考委員会委員長は報告結果をもとに、受賞者を最終的に判断する。

4. 選考結果の発表と表彰

1)受賞者の名前・所属を「日本MRSニュース」に公示する。

2)表彰方法：賞状等にタイトルと名前を記入の上、選考規定とともに本人に郵送する。

奨励賞規定

1. 本規定は日本MRS（以下、本会）が若手研究者に対して行う表彰に関して定めたものである。

2. 本表彰は、本会が定期的開催する年次大会で優秀な発表（口頭発表あるいはポスター発表）をした若手研究者個人に「奨励賞」を授与し、その功績を称えることを目的とする。

平成30年度事業計画

- 表彰対象は本会が定期的開催する年次大会で口頭発表あるいはポスター発表した若手研究者であり、以下の全ての要件を満たす者とする。
 - 論文の登録発表者、(2)実際に発表した者、(3)発表申込時に奨励賞への申込をした者
- 若手研究者については以下のように区分し、区分毎に表彰者を決定する。ただし、学生に関しては年齢を問わない。
 - 学部学生、(2)大学院修士課程（博士前期課程）の学生、(3)大学院博士課程（博士後期課程）の学生、(4)発表年の12月31日の時点で40歳未満の一般の研究者
- 選考委員会は、シンポジウム毎に表彰候補者の数の10%程度を授賞候補者として選び、理事会に推薦する。
- 理事会は選考委員会の結果を審議し、受賞者を決定する。
- 受賞者には会長名の賞状を授与し、受賞者名を「日本MR Sニュース」に公示する。
- 本規定は理事会の承認を経て改定することができる。
- 本賞の英文名称は次の通りとする。

Award for Encouragement of Research in Materials Science; The Materials Research Society of Japan

奨励賞選考細則

1. 奨励賞選考委員会

- 選考委員会は本会の年次大会を構成する各シンポジウムのオーガナイザーから推薦された各3名以上の委員と、理事会から推薦された委員長ならびに副委員長各1名から構成される。
- 選考委員の推薦方法は各シンポジウムオーガナイザーに委任する。ただし、選考委員は当該分野に見識のある研究者とする。推薦リストをもとに選考委員会では委員を委嘱する。委嘱された委員は、当該シンポジウムで発表された表彰候補発表（口頭発表あるいはポスター発表）について評価を行い、選考委員会に報告する。
- 選考委員会委員長と副委員長は評価結果をとりまとめ、理事会に報告する。

2. 受賞者の数

選考委員会は、シンポジウム毎に表彰候補者の数の10%程度を授賞候補者として選び、理事会に推薦する。

3. 評価項目：以下の5つの項目について評価する

- 理解度：内容を十分に理解しているか？質疑応答が適切になされているか？
- 発表あるいは説明の態度：聴講者に内容を的確に説明しているか？
- 発表あるいはポスターの構成・表現：見やすいか？よく整理されているか？
- 研究内容：十分に考察されているか？
- 総合：総合的に見て、優秀な発表であるか？

上記の項目について、選考委員毎に4段階で絶対評価(4:非常に優れる、3:優れる、2:普通、1:努力を要する)する。

4. 選考手順

- シンポジウム毎に選考委員の中から主査を選出する。
- 専門性を配慮し、1つの表彰対象論文に対し、3名の選考委員を選定する。

平成30年度事業計画

- 3) 選考委員が共著の論文は、当該委員は評価できない。その場合、専門性を考慮し、やむをえず代替の選考委員が充当できないとき、他2名の選考委員の評価平均点を評価点として加算する。
 - 4) 3名の委員の評点の合計点等をもとに、シンポジウム毎に受賞候補者の推薦順位を決定し、主査はWEBシステムを用いて選考委員会副委員長に報告する。
 - 5) **選考委員会委員長より確定した受賞者一覧を各シンポジウムの選考委員主査にフィードバックし、内容について最終確認を得る。**
5. 理事会での審議
理事会は選考委員会に審議を委任することができる。
 6. 受賞者の掲示、表彰などについては原則として以下の通りとする。
 - 1) 受賞者を年次大会終了後1週間以内に決定し、本人に通知すると同時に「日本MR Sニュース」などに公示する。
 - 2) 賞の授与は郵送により行う。ただし、この項は本会の学術講演会の運営日程に従い、予告なく変更することができる。
 7. 本細則は理事会の承認を経て改定することができる。

2018年6月15日改訂

平成30年度事業計画

IUMRS 対応委員会 1

IUMRS対応委員会委員長 森 利之

E-MRSとのジョイントシンポジウム開催支援 : MRS-J/ E-MRSバイラテラル・シンポジウム開催

開催日時場所 : 7th International Symposium on Transparent Conductive Materials and
4th E-MRS & MRS-J Bilateral Symposium on Advanced Oxides 13-19 October, 2018,
Crete-Greece

http://emrs_mrs_j.tcm2018.org/



E-MRS & MRS-J BILATERAL SYMPOSIUM

Co-Chairs
George Kiriakidis, University of Crete and IESL/FORTH, GREECE
Tetsuya Yamamoto, Kochi University of Technology, JAPAN
Nobuyuki Inata, Nihon University, JAPAN

EMRS & MRS-J ORGANIZING COMMITTEE

E-MRS ORGANIZING COMMITTEE



George Kiriakidis President



Prof. Hanns Ulrich Habermann



Prof. Andreas Klein

MRS-J ORGANIZING COMMITTEE



Prof. Tetsuya Yamamoto



Prof. Yuze Shigesato



Prof. Tetsuya Yamamoto

Copyright © 2017 All Rights Reserved by MITOS SA.



IMPORTANT DATES

- Deadline for abstract submission for oral/poster presentation: 23th /05/ 2018
- Notification of abstract acceptance for oral/poster presentation: 23 / 06 /2018
- Deadline for early registration payment: 15 / 08 /2018
- Deadline for hotel reservation: 25 / 08 /2018

IUMRS-ICYRAMへの参加協力 及び MRS-JがhostとなるICYRAM(5年後)提案

若手中心に組織・運営を行うIUMRS-ICYRAMの日本開催(開催場所:東工大(大岡山キャンパス?))を前提に、準備をすすめる必要がある。 <http://icyram2018.aomevents.com.au/>

その活動の一環として、本年11月にアデレードで開催される本国際会議に、早期参加登録費支援をさせていただくことを通して協力を行う。

MRS-J協力担当(予定): 松下先生、山浦先生

(補足)

IUMRS-Somiya Award 次回は2019年に選考・受賞式典(フランス)を実施予定



THE INTERNATIONAL CONFERENCE FOR YOUNG RESEARCHERS ON ADVANCED MATERIALS
4 - 8 November 2018



As conference chair, and on behalf of my fellow organizing committee, I welcome the world's young advanced materials researchers to ICYRAM2018. This conference aims to give all the researchers from around the world the opportunity to engage and network with peers, industry and friends, in the field of advanced materials. Specifically ICYRAM2018 gives a platform for researchers under 15 years post-PhD to present their work, from the 4th to 9th of November 2018. Adelaide in South Australia will be the global focus for the scientific presentations, conversations, and chance meetings that will set the future discoverers and innovators that will drive society. The organizing committee is committed to delivering a positive experience for all attendees, irrespective of background or gender, in a forum that promotes diversity and openness to impact on the environment. The organizing committee and I, the city of Adelaide, and Australia as a whole welcome you to ICYRAM2018. We look forward to hosting your visit.
Associate Professor Drew Hines, Conference Chair ICYRAM2018



平成30年度事業計画

IUMRS 対応委員会 2

E-MRSとのジョイントシンポジウム開催支援

MRS-J/ E-MRSバイラテラル・シンポジウム開催運営経費: **60万円**

開催日時場所: 7th International Symposium on Transparent Conductive Materials and 5th E-MRS & MRS-J Bilateral Symposium on Advanced Oxides 13-19 October, 2018, Crete-Greece

内訳: 日本からの招待講演者10人分参加登録料: $450\text{ユーロ} \times 10\text{人} = 4500\text{ユーロ}$: 約60万円

本年度の活動を通して、支援額の最大で半額に相当する分の正会員(年会費:8,000円/人)の増加(最大で、37名程度増)を目指す。

IUMRS-ICYRAMへの参加協力支援 及び MRS-JがhostとなるICYRAM(5年後)提案

早期参加登録(一般)締め切り: 2018年6月30日 登録費 $850\$ \times 7\text{名}$ (AU\$なら9名)
 $\underline{\hspace{10em}} = 64\text{万円}$
(最大)

5年間の本支援活動を通しての正会員増加分+日本開催ICYRAMの収益により、総支援金額の50%から100%の収入増を目指す。